



2023年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年11月14日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ハイパー

コード番号 3054 URL <https://www.hyperpc.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 望月 真貴子

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 江守 裕樹 TEL 03-6855-8180

四半期報告書提出予定日 2023年11月14日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無： 無

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第3四半期の連結業績（2023年1月1日～2023年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第3四半期	8,532	6.2	40	75.7	42	64.9	0	-
2022年12月期第3四半期	8,030	△47.8	23	△57.7	25	39.6	△354	-

(注) 包括利益 2023年12月期第3四半期 4百万円 (-%) 2022年12月期第3四半期 △351百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第3四半期	0.10	0.09
2022年12月期第3四半期	△36.55	-

(注) 2022年12月期第3四半期の「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年12月期第3四半期	7,170	2,725	37.3	274.54
2022年12月期	7,125	2,775	38.1	280.02

(参考) 自己資本 2023年12月期第3四半期 2,672百万円 2022年12月期 2,716百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	-	4.50	-	2.50	7.00
2023年12月期	-	3.50	-	-	-
2023年12月期（予想）	-	-	-	3.50	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2023年12月期の連結業績予想（2023年1月1日～2023年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,700	10.4	71	-	70	-	1	-	0.10

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年12月期3Q	9,855,300株	2022年12月期	9,832,900株
② 期末自己株式数	2023年12月期3Q	121,308株	2022年12月期	132,408株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年12月期3Q	9,717,464株	2022年12月期3Q	9,694,846株

（注）期末自己株式数には、「三井住友信託銀行株式会社（信託口）（再信託受託者：株式会社日本カストディ銀行（信託口）」が保有する当社株式118,900株が含まれております。また、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境が改善する下で、緩やかな景気回復が続いております。ただし、世界的な金融引締めに伴う影響や中国経済の先行き懸念など、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっており、物価上昇、金融資本市場の変動等の影響により、先行き不透明な要素がみられました。

当社グループが属する情報機器販売業界におきましては、世界的な物価上昇によるハードウェア機器販売へのマイナス影響の懸念がありますが、DX推進を図る国内企業のシステム刷新および新規システム構築の需要に支えられ、堅調に推移しております。

このような環境のもと、当社グループにおきましては、ストックビジネスの強化、メーカーとのアライアンス強化、ソリューションビジネスの強化をすることで事業の収益の向上に注力してまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は8,532,270千円（前年同四半期比6.2%増）、経常利益は42,123千円（前年同四半期比64.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は925千円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失354,346千円）となりました。

なお、報告セグメントごとの業績をより適切に評価するため、第1四半期連結累計期間の期首より共通費の配賦方法の変更をしております。そのため、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の事業セグメントの利益又は損失の測定方法に基づいて作成したものを開示しております。

各セグメント別の営業の概要は次のとおりであります。

① ITサービス事業

パソコン市場においては、パソコン国内出荷台数については前年実績を下回りました。また、部材価格、物流費高騰などを背景とした製品価格は高止まりの状況が続きました。

このような環境のもと、当社グループではエプソン社のインクジェット複合機である「スマートチャージ」をはじめとする環境に配慮した製品や、ITコンサルティングやソフトウェア受託開発、サイバーセキュリティ対策などのソリューションビジネスに注力し、順調に推移しました。

売上高については、パソコンをはじめとしたハードウェア機器販売の出荷台数が昨年度を下回ったものの、製品価格の上昇により、前年同期に比べ上回りました。

一方、利益については製品価格上昇分を販売価格に転嫁しきれなかった影響などもあり、前年同期に比べ下回ることとなりました。

以上の結果、売上高は7,498,893千円（前年同四半期比4.5%増）、営業利益は296,122千円（前年同四半期比33.5%減）となりました。

② アスкулエージェント事業

既存取引先の稼働促進や新規取引先の拡大などの営業活動を強化したことや猛暑が続いた影響もあり、ペットボトル飲料やキッチンリビング用品/食品/生活消耗紙などの日用消耗品の販売が好調に推移しました。

以上の結果、売上高は996,388千円（前年同四半期比27.1%増）、営業利益は227,153千円（前年同四半期比14.9%増）となりました。

③ その他

当社グループは、就労移行支援事業及び放課後等デイサービス事業を3施設運営しておりましたが、2022年9月1日に放課後等デイサービス事業2施設を事業譲渡いたしました。

就労移行支援事業につきましては、同年9月1日以降も事業として継続し、経営資源を集中することで事業の拡大を図ってまいりました。

以上の結果、売上高は36,987千円（前年同四半期比48.9%減）、営業利益は2,315千円（前年同四半期比51.8%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比べて45,091千円増加し、7,170,265千円となりました。

流動資産の残高は6,476,300千円となり、前連結会計年度末と比べ28,230千円の減少となりました。これは主に「受取手形及び売掛金」が増加したものの「商品」が減少したことによるものです。

固定資産の残高は693,965千円となり、前連結会計年度末と比べ73,321千円の増加となりました。これは主に「のれん」が増加したことによるものです。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末と比べて95,412千円増加し、4,444,817千円となりました。

流動負債の残高は3,854,605千円となり、前連結会計年度末と比べ96,757千円の増加となりました。これは主に「短期借入金」が減少したものの「買掛金」が増加したことによるものです。

固定負債の残高は590,212千円となり、前連結会計年度末と比べ1,345千円の減少となりました。これは主に「長期借入金」の減少によるものです。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、「利益剰余金」の減少等により、前連結会計年度末と比べ50,320千円減少し、2,725,447千円となりました。この結果、自己資本比率は37.3%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点において、2023年8月4日に公表しました2023年12月期の業績予想に変更はありません。

また、業績予想は、同資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,518,326	2,476,259
受取手形及び売掛金	2,995,536	3,075,154
電子記録債権	73,560	133,084
商品	681,624	520,205
仕掛品	59,410	128,064
その他	180,484	147,839
貸倒引当金	△4,413	△4,308
流動資産合計	6,504,530	6,476,300
固定資産		
有形固定資産	8,560	18,039
無形固定資産		
のれん	-	61,432
その他	356,222	306,049
無形固定資産合計	356,222	367,481
投資その他の資産		
投資有価証券	90,397	90,525
その他	242,157	294,725
貸倒引当金	△76,694	△76,806
投資その他の資産合計	255,860	308,444
固定資産合計	620,643	693,965
資産合計	7,125,173	7,170,265
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,588,814	2,696,763
短期借入金	570,000	500,000
1年内返済予定の長期借入金	220,800	240,840
リース債務	5,767	7,762
未払法人税等	48,060	14,902
賞与引当金	72,180	47,336
その他	252,224	347,000
流動負債合計	3,757,847	3,854,605
固定負債		
長期借入金	477,200	397,200
退職給付に係る負債	26,722	39,086
役員株式給付引当金	32,676	33,708
リース債務	17,543	19,742
その他	37,415	100,475
固定負債合計	591,557	590,212
負債合計	4,349,405	4,444,817

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	569,449	572,374
資本剰余金	567,376	570,301
利益剰余金	1,634,111	1,575,984
自己株式	△59,803	△54,708
株主資本合計	2,711,134	2,663,952
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,173	8,391
その他の包括利益累計額合計	5,173	8,391
新株予約権	59,460	53,103
純資産合計	2,775,768	2,725,447
負債純資産合計	7,125,173	7,170,265

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
売上高	8,030,902	8,532,270
売上原価	5,860,698	6,125,701
売上総利益	2,170,204	2,406,569
販売費及び一般管理費	2,147,154	2,366,065
営業利益	23,050	40,503
営業外収益		
受取利息	285	276
受取配当金	681	871
広告料収入	1,500	1,200
協賛金収入	901	2,662
その他	2,470	2,547
営業外収益合計	5,838	7,558
営業外費用		
支払利息	2,442	5,783
固定資産除却損	417	-
その他	491	155
営業外費用合計	3,351	5,938
経常利益	25,537	42,123
特別利益		
新株予約権戻入益	1,630	2,132
投資有価証券売却益	-	11,550
事業分離における移転利益	533	-
特別利益合計	2,164	13,682
特別損失		
固定資産売却損	-	4,263
過年度決算訂正関連費用	329,618	-
その他	1,000	-
特別損失合計	330,618	4,263
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△302,916	51,542
法人税、住民税及び事業税	50,094	34,732
法人税等調整額	1,334	15,884
法人税等合計	51,429	50,617
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△354,346	925
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△354,346	925

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	△354,346	925
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,208	3,218
その他の包括利益合計	3,208	3,218
四半期包括利益	△351,137	4,143
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△351,137	4,143

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 2	合計	調整額 (注) 3	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 1
	I Tサービ ス事業	アスクルエ ージェント 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	7,174,469	784,094	7,958,564	72,337	8,030,902	-	8,030,902
セグメント間の内部売 上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	7,174,469	784,094	7,958,564	72,337	8,030,902	-	8,030,902
セグメント利益又は損失 (△)	445,278	197,628	642,907	4,799	647,707	△624,657	23,050

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。

2. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、就労移行支援事業及び放課後等
デイサービス事業等を含んでおります。3. セグメント利益又は損失(△)の調整額△624,657千円は、主に報告セグメントに帰属しない本社費用であり
ます。

II 当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 2	合計	調整額 (注) 3	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 1
	I Tサービ ス事業	アスクルエ ージェント 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	7,498,893	996,388	8,495,282	36,987	8,532,270	-	8,532,270
セグメント間の内部売 上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	7,498,893	996,388	8,495,282	36,987	8,532,270	-	8,532,270
セグメント利益又は損失 (△)	296,122	227,153	523,275	2,315	525,590	△485,087	40,503

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。

2. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、就労移行支援事業を含んでおり
ます。3. セグメント利益又は損失(△)の調整額△485,087千円は、主に報告セグメントに帰属しない本社費用であり
ます。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(共通費の配賦方法の変更)

報告セグメントごとの業績をより適切に評価するため、第1四半期連結累計期間の期首より共通費の配
賦方法の変更をしております。そのため、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の事業
セグメントの利益又は損失の測定方法に基づいて作成したものを開示しております。